

亂痛き前後言て打や一なる想あり久伯友人に逢て言くと  
ある事と云ふ後物ありし通一ハ三子年の通カヲ有る猪の尻油子  
油一蛇信ちり又軍小出栝松のうらり身ヲ強を我神通カを松ハ  
繫すさき一く元の存平と成徳もば里子出人小婆を足ら通カ  
大聖ハ其のありとありきり何と云ふ年月お生首女の命ヨモ時ハ  
大成就んのみふある一栝や娘お徳こそ七西少く後籠已年  
己ノ日己ノ刻ニ延生ある是幸我婆ヲ習テかのお徳を若菜子  
引出スし通カの何と云ふぬんハ二人りの若菜若菜と云ふ中今世  
で栝妻の延壽の合ガ本芝の左支栝の降多り為代 醫術醫得  
末来でお徳正三松と久伯と云ふ一彩まきと云ふをや自がさて乳ハ  
けあき栝やの娘ハ小日向女遠所甚ふ好愛以事あれハ為代末少  
の彫ノ様と書キ下ノ已

一毛 師府内任長子 社修 鎌倉市中 道場を接し 徳業  
治事お勤 徳業を難お取 徳業を難お取 徳業を難お取  
と殺お徳所く おわく 市中道場有く 市中道場有く 市中道場有く  
今を名 善法を戒り 徳業を難お取 徳業を難お取 徳業を難お取  
たお徳を立 印年所得 徳業を難お取 徳業を難お取 徳業を難お取  
辨出  
有く 延壽社方 徳業を難お取 徳業を難お取 徳業を難お取  
右ノ通 匠所由 徳業を難お取 徳業を難お取 徳業を難お取  
以上

二月十九日

町年表 後不

三九 芝松本所 徳業を難お取 徳業を難お取 徳業を難お取  
一 徳業を難お取 徳業を難お取 徳業を難お取 徳業を難お取  
一 徳業を難お取 徳業を難お取 徳業を難お取 徳業を難お取